

# Kait e-letter

Vol. 3  
No. 2  
2017.10.11

Electrical and Electronic Engineering, Kanagawa Institute of Technology

**後期スタート** 後期がスタートしました。十分に時間がとれる夏休み期間中、研究室は学会発表などが盛んになる時期です。今回は、学会等で発表された学生や表彰された学生達に感想を聞きました。

## 学部生と大学院生が電気学会よりYPC奨励賞を受賞

平成29年9月5～7日に明治大学(中野キャンパス)において開催されました平成29年電気学会 電力・エネルギー部門大会で電気電子情報工学科4年生の森修人さんが論文「燃料電池の新しい最大効率点検出システムの開発」、大学院2年生の落合将喬さんが論文「太陽光発電システムのための新型Plug-in動作点補正システムの効果」のポスター発表を行い、この2名がYPC(ヤング・ポスター・コンペティション)奨励賞を受賞しました。

### 落合将喬さんの感想 (大学院2年、総合工科高校卒)

この度は、このような素晴らしい賞を頂き大変光栄に思います。この発表を通して、自分の思っている事や考えている事を、相手に理論的に伝えることの難しさを改めて感じました。同じ質問でも、納得するポイントは人によって違います。一種類の伝え方だけではなく、様々な伝え方をするためにも、幅広い知識や経験が重要なのだなと感じました。他大学の学生とコミュニケーションをとれる機会もあり、英語の勉強の必要性や発表の難しさ等、考えている事を共有することができ、嬉しかったです。

今回の受賞を自信にして、さらに精進を重ねて行き、太陽光発電の発展に貢献できるように努力していきたいと思えます。



### 森修人さんの感想 (学部4年、菊里高校卒)

学部生のみで学会に参加できたこと、そして受賞できたことを大変嬉しく思います。私にとってはこれが初めての学会でしたので非常に緊張しました。

学会での発表は他大学の先生や専門家に研究成果を報告する場であるため、研究室内の議論とは雰囲気から内容まで異なり、新鮮でした。

発表はポスターセッションで、1対1で対応する機会が多く、聴講者からの鋭い質問や的確なアドバイスは非常に参考になりました。

今後はこの学会で得られたもの、そして受賞したことを励みにし、さらに研究に精進しようと思えます。



## PV Japan 2017で学生が研究成果を発表

パシフィコ横浜で開催された「PV Japan 2017 & 再生可能エネルギー世界展示会」で電気電子情報工学科の板子研究室が展示を行いました。太陽光発電システムを運用しながらパネルの異常を監視するパワーコンディショナを日立アプライアンス(株)と共同で試作し、大学院2年生の飯塚直明さん、学部4年生の久爾之周さん、石上大輝さんらがその研究成果を発表しました。また、大学院1年生のYANG SHUA Iさん、学部4年生の竹田雄亮さん、吉原一樹さんらが太陽光発電システムのための新しい高効率制御方式についての研究成果を発表しました。この研究内容は、日刊工業新聞(2017年7月3日27面)「パワコンに監視機能—神奈川工大と日立アプライアンス試作機を開発」でも紹介されました。



**神奈川工科大学**  
KANAGAWA INSTITUTE OF TECHNOLOGY

ホームページ: <http://www.kait-ele.jp>

発行: 神奈川工科大学 工学部 電気電子情報工学科  
カイト・イーレター編集委員会



神奈川工科大学  
電気電子情報工学科

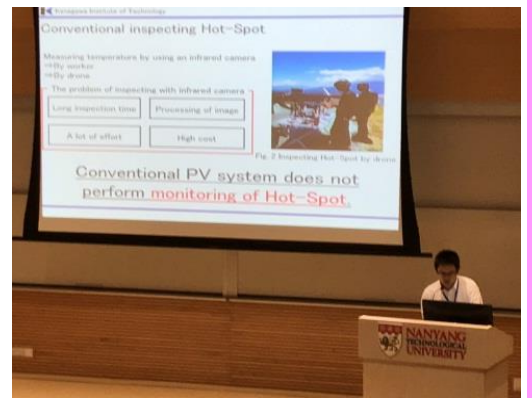


@kait\_ele2014

## ICOGEで発表

大学院2年生の飯塚直明さんが2017年7月23日から26日にかけて、シンガポールで開催された環境エネルギー関係の国際会議IEEE International Conference on Green Energy (ICOGE)で口頭発表を行いました。世界各国の研究者が集い、エネルギーに関する活発な議論が行われました。

**飯塚直明さんの(大学院2年、宇都宮短期大学附属高校卒業)感想**  
私は現在、太陽光パネルに関する研究を行っています。今回、国際学会ICOGEのPower Electronics and Generation Technology部門でパネルの異常診断システムについての発表を行いました。初めての英語での口頭発表ということもあり、緊張もありましたが、事前の練習のおかげで発表は納得のいくものとなりました。今回の学会発表で、発表したことはもちろんのこと他の研究者との交流を経て、今後の人生において役立つ経験ができたと感じています。最後に、国際学会発表の機会を与えて下さった指導教員の先生、学会運営の皆様に、この場を借りて深く御礼申し上げます。



## EAC2017で発表

大学院1年生の澤野秀俊さんら電気電子情報工学科の学生5名が2017年8月27日から9月1日にかけて、スイスで開催されたEuropean Aerosol Conference 2017で研究成果を発表しました。

**澤野秀俊さん(大学院1年、清水東高校卒業)の感想**

国際学会でポスター発表を行いました。聞き手との距離が近く、対話をする感じで発表することは不思議な感覚でした。英語で会話することは殆ど無いため、不安なことはありましたが、私自身不慣れな英語で会話しようと努力したことや聞き手側もわかりやすく伝えようとしてくださったこともあり、無事に終わることが出来ました。しかし、英語で会話する能力や英語でコミュニケーションを取ることに苦手から相手に対する積極性が足りないと思いました。今後は、研究を行うとともにそれ以外にも学ぶべきことを考えながら精進していきたいと思いました。



## 日本マリンエンジニアリング学術講演会で発表

学部4年生の伊藤航平さんら電気電子情報工学科の学生2名が都内で開催された日本マリンエンジニアリング学術講演会で研究成果を発表しました。

**伊藤航平さん(学部4年、酒田東高校卒業)の感想**

今回、日本マリンエンジニアリング学術講演会に参加し、伝えたいことを相手に伝えることの難しさ、練習の重要性を学ぶことが出来ました。自分の理解と解釈を相手に納得のいくように説明する、初めて聞く人にも分かりやすく説明することを意識し、何度も発表資料の修正や言葉遣いに気をつけ練習を行っていました。当日は、不安や緊張から思うように言葉が出てきませんでしたが、何度も行った練習の甲斐もあり徐々に落ち着きを戻し発表を行うことが出来ました。また、会場内には他大学の学生も多く参加しており、新たな興味や知見を広げる機会が得られました。自分の卒業研究に対するモチベーションも上がり深く探求していきたいと感じました。

今回の経験は、今後の大学生活だけでなく社会に出ても役に立つと思っています。自分の殻を破り様々なことに進んで挑戦し、このアドバンテージを次の機会に活かしていきたいと感じました。



## 学生等による最近の学会発表

(期間: 2016.7.1~2016.9.30)

1. 飯塚直明、他、2017年度 電気学会電力エネルギー部門大会、明治大学
2. 飯塚直明、他、2017年度 第35回電気設備学会全国大会、愛媛大学
3. 飯塚直明、他、2017年度 IEEE International Conference on Green Energy、シンガポール
4. 落合将、他、年度 電気学会電力エネルギー部門大会、明治大学
5. 竹田雄亮、他、2017年度 電気学会電力エネルギー部門大会、明治大学
6. 森修人、他、2017年度 電気学会電力エネルギー部門大会、明治大学
7. R. Oi, I. Kobayashi、他、International Symposium on Electrohydrodynamics 2017、カナダ
8. Y. Nakada、他、European Aerosol Conference 2017、スイス
9. K. Ito、他、European Aerosol Conference 2017、スイス
10. T. Mitsui、他、European Aerosol Conference 2017、スイス
11. H. Sawano、他、European Aerosol Conference 2017、スイス
12. S. Toguchi、他、European Aerosol Conference 2017、スイス
13. R. Oi、他、European Aerosol Conference 2017、スイス
14. 中田悠太、他、日本防菌防黴学会第44回年次大会、大阪
15. 渡久地崇磨、他、日本防菌防黴学会第44回年次大会、大阪
16. 伊藤航平、他、電気学会基礎・材料・共通部門大会、北海道
17. 三井智也、他、電気学会基礎・材料・共通部門大会、北海道
18. H. Ito, IWIN 2017、クロアチア